

## 野外作業は“マダニ”に注意

季節が暖かくなるにつれ野外作業や農作業も本格化しますが、野山や畑に出かける際に気を付けなければならないのはマダニによる感染症です。マダニを媒介した感染症の患者数は全国的に増え、福島県衛生研究所の調査によると、県内も感染地域は全域に広がっています。

マダニは住宅内にいるダニとは種類が異なり、野山や畑、あぜ道など野外に生息し、ネズミやイノシシなどの野生動物にも付着しています。大きさは数ミリですが、吸血後には数倍に膨れます。様々な病原体を保有し、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、日本紅斑熱、つつが虫病などの感染症の原因となります。

春からはマダニの活動が活発になります。野外で作業などをする場合は、

- ①長袖、長ズボン、帽子や手袋などを着用し、できるだけ肌の露出を避ける。
- ②シャツの袖口は手袋に、ズボンの裾は靴下に入れる。
- ③作業後の上着などは家に持ち込まない。
- ④作業後はシャワーや入浴で体を洗う。

などの対策を心がけましょう。

マダニに咬まれた場合は、体調の変化に注意し、発熱等の症状が現れたら、皮膚科や外科などの医療機関を受診してください。